

# 今年も飛びます!

30回目の

# 赤とんぼ意見広告



No. 198号  
2012年5月28日  
発行人 宮崎 優子  
事務局 日高 礼子  
☎ 097-544-8892  
FAX 097-544-8892

泊原発も停止して50基の日本の原発すべてが止まりました。日常生活に何の変わりもありません。電気が足りない騒ぐ人もいません。あるのは心の安らぎ、不思議な安堵感。夏のほんの一時期跳ね上がる電力需要のために、なぜ毎日毎日を戦々恐々と暮さねばならないのでしょうか。

私たちの思いとは裏腹に政府も電力会社も「まず再稼働の道ありき」の方針を崩していません。原発1基あたり定期検査の経済効果は6億円、通常運転も含めると年間26億円の経済効果があるといえます。50基あれば……でもそこには、被曝していく労働者や、汚染されていく環境、増え続ける放射性廃棄物への補償はありません。

国民の命よりも経済重視、基地も原発も全く同じ事。

アメリカの軍事戦略にオフショア・バランシング戦略というものがあろうです。仮想敵に対して第三国(同盟国も含めて)との

敵対関係を増幅させ、自らの安全を確保する。(豊下梢彦さんの講演より) 豊下さんは、尖閣諸島問題こそ、この戦略だといいます。つまり中国と日本の敵対関係を増幅させてアメリカが自らの安全を確保するということ。

尖閣諸島の大正島は国有地、後の4島は個人の所有地ですが、魚釣島、北小島、南小島の3島は2002年から日本政府が年間2450万円の賃貸料を支払って借りています。そして残りの久場島は、在日米軍が射爆場としています。(この30年使用していませんが) しかしアメリカ政府は尖閣領有権に関しては中立の立場。アメリカの貿易相手国としては日本よりも今や中国の方がお得さんです。

そして中国のミサイルは沖縄全滅の威力を持つに至っています。海兵隊の沖縄からの先行移転が始まったのは……

基地や原発は未来の命を根こそぎ犠牲にしているのです!

**イラスト募集!!**

“あなたが守りたい命”の絵を1つ官製はがきに大きく描いて事務局まで送ってください。

6月30日(月)

**意見広告までの日程**

6月30日(出)13:00~ デザイン会議  
7月14日(出) " " & 集約作業  
7月21日(出) " " & 集約作業  
7月31日(火) " " & 〆切  
8月上旬 随時校正作業  
8月15日 意見広告掲載

場所はいずれもコンパル2F女性活動室(男性もはれます)

**2011年度 会費会計報告**

3月31日時点

収入	前年度繰り越し	91,265円	
	会費	119,000	78名
	雑収入	202,414	2011年意見広告費より
	預金利子	27	
	合計	412,706	
支出	印刷費	58,905	機関誌195号~197号
	通信費	64,680	機関誌発送費用他
	家賃	24,000	2011/4, 5・2011/10~2012/3
	事務費	3,855	封筒、インク他
	意見広告	5,000	市民意見広告運動(東京)
	カンパ	13,000	日出生台・ピースコンサート
	合計	169,440	

収入 412,706 - 支出 169,440 = 残金 243,266

※今年度(2012年)より会費会計決算月を9月末にして、意見広告費と会費会計の報告を同時にします。

# 今年2月に行われた日出生台米軍演習に関してローカルネット大分・日出生台が大分県に対して3月16日に申し入れた要請文です。

大分県知事 広瀬勝貞 殿

## 日出生台での米軍演習に関する要請文

2月10日から10日間にわたって、日出生台演習場で行われた、9回目の米海兵隊の実弾射撃訓練は、私たちローカルネット大分・日出生台のカウントで、総砲撃数693発、夜間の砲撃数176発、夜間の一時間あたり砲撃数43発、夜間砲撃日数7日間と、そのすべてにおいて過去最多を更新。これまでで、もっとも激烈な実弾砲撃演習が実施されました。

今年の訓練では、夜間砲撃の着弾音、衝撃、振動が例年より格段に大きく、演習初日には、日出生台から約30キロ離れた別府市でも30件の問い合わせが寄せられました。地元から再三、自粛要請を行ってきた夜間に激しい砲撃を強行したことは、住民感情を逆なでする暴挙であり、住民配慮よりも、自分たちの訓練を優先する米軍の傍若無人な姿勢を如実に示したものとわざるをえません。

また、今回は、訓練初日、2月10日の深夜、完全武装し機関銃を持った米兵と、米軍の部隊車列が、県道へ出てくるという前代未聞の事件も起きました。出てきたトラックは、155ミリリゅう弾砲や貨物車両などを牽引しており、県道の道幅いっぱいまで広がって通行した当時の状況を考えると、もし、その時間に、住民の車両が通りかかっていたなら、道路が凍結していたこともあり、大きな事故へつながりかねない危険な状態にあったといわざるをえません。

日出生台の米軍使用協定においては、この米軍の県道走行を規程する項目こそありませんが、そもそもこの協定の目的は、「地域住民の不安や懸念の解消を図る」ためとあり、今回、日出生台の地元自治委員から「県道に出さないでほしい」との要請がなされたように、地域住民は今回の事件に大きな不安と懸念を抱いています。この地域住民の不安、懸念の解消のために、米軍使用協定に、はっきりと米軍の県道走行禁止について明文化した項目を加えてくださるよう求めます。

また、報道によれば、これについて、九州防衛局は「県道走行が可能な理由について、日米地位協定第5条により、施設間の米軍車両の移動は認められている」とコメントしました。しかし、今回の彼らの県道走行は、日出生台演習場から県道へ出て、その後、また演習場へ戻ったものであり、これを地位協定上の「施設間の移動」とするのは、あまりに都合のいい拡大解釈といわざるをえません。

そもそも、この日米地位協定の第5条「施設間移動」というのは、基地へのアクセスを認めているものに過ぎず、そのような拡大解釈は、沖縄でも長年にわたって問題となり、再三にわたって、改善の要求が沖縄県からなされてきたものです。

沖縄では、この地位協定第5条の「施設間移動」を名目に、完全武装した米軍部隊が市街地で行ってきた行軍訓練が繰り返されてきました。また、2005年には、沖縄県の公道で走行訓練していた米軍のトラックが、一般の乗用車と衝突する事故まで起きています。そこでも、防衛局や外務省は「施設間移動」として、米軍の公道での傍若無人な走行訓練を認める発言を繰り返してきました。

地位協定については、その他にも17条の裁判権の問題など、米軍に無制限ともいえる特権を与える内容が、米軍の野放図な行動や犯罪を生む原因となっているとの指摘がされてきました。日出生台においても、今回、「施設間移動」という言葉が用いられ、いったん、米軍による事件、事故が発生すれば、直ちに同じ問題に直面することが浮き彫りとなりました。大分県としても、沖縄県などとともに、この不平等、不公正な性格の地位協定の抜本的な改善、見直しを国に対して、求めていただけますよう、求めます。

最後に、そもそも、今回の県道走行などの問題が発生しているのは、年を重ねるごとに、拡大、激化、多様化している米軍の演習が、いまだ、縮小廃止にならないままに継続し続けていることに帰因するものです。私たちは、あらためて、日出生台での米軍演習の一刻も早い、縮小廃止と、そのための実効性ある行動を、大分県に対して願うものです。

よって、以下の3点について、大分県に要請いたします。

- 1, 日出生台での米軍演習の縮小、廃止を実現するためにあらゆる手立てを尽くすこと
- 2, 米軍に特権を与えている日米地位協定の抜本的見直しを国に求めること
- 3, 今年、更新される「日出生台米軍使用協定」に、米軍の県道走行を禁止する規程を盛り込むこと



2月10日深夜、武装した海兵隊の車列が県道を走行した。



# でんでん虫の

## ねごと



『私も原発のデモに行こうかと思っているの』

佐賀にいた知人からの電話で全く驚いてしまった。

なぜなら玄海原発の地元にながら、いや、いるせいかな、彼女は「原発・絶対・安全論者」

である。わたしが危ないとか恐ろしいとか言おうものなら、彼女は声を荒げてその安全性を説く。従ってお互いに電話も間遠くなっているところへの、この電話であった。

「実は松下竜一さんの東大入学式での挨拶文（1988年の講演）を読んだら凄いのね。あの頃から現在を見透かしていた事にびっくりしたわけ。あの頃、あなたから『暗闇の思想を』という本を送ってもらったけど、私には全然受けつける気持ちが無くて、読みもせずに送り返したけど…」

松下さんは生きています！亡くなった後も、その魂で人を説く。その力の凄さに、私は彼女の電

話を聞きながら、心を揺すぶられる思いがした。

松下さんが亡くなって10年、正に彼が懸念し続けた通りの時代が来てしまった。しかし、20年前には受けつけられなかった思想が、今、人々のココロの固い扉を開こうとしている。

生きていて何もできない私だが、「松下さんという人がいて…」と伝えてゆくことはできる。

新しく出版された「暗闇に耐える思想」という本を手にする。もう一度改めて読んでみようと思う。

1988年に松下さんの講和を聞いた学生達は、今まさに働き盛り、政治や企業を担う立場だろう。その時の話を肝に命じて生きている元・学生がいる事を切に願う。(み)

### ～第8回 竜一忌～

6月16日(土) 14:00～

中津教育福祉センター

1部 小出裕章さんの講演

「福島第一原発の今と放射能のこれから」

2部 各地からのリレートーク

参加費：3000円

(1部のみ 1000円)

要予約

連絡：0979-23-1134 (梶原)

憲法・教育基本法  
市民連続講座2012 第1回  
**どこに行くの、大阪？**

とき：6月3日 13:30～16:00  
ところ：コンバルホール305号室  
講師：竹林 隆さん  
(大阪教育合同労組)  
資料代・カンパ：1000円  
(連絡先)090-4583-8797(池田)

**伊方原発稼働阻止！  
愛媛県庁包囲行動**

とき 6月10日(日)午後1時開場  
集合場所 城山公園・やすらぎ広場  
(松山市堀ノ内)  
主催 1時30分参加者集会・2時15分デモ  
電話 089-1948-9990

**なまなきひとむれチラシ配り**

8月15日13時半～大分トキハ前で

**声に出して読んでみましょう憲法九条**

『戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権否認』

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としての、永久にこれを放棄する。  
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国防の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 〒八七〇-八五五 大分市豊饒四組 みんなの家  
TEL/FAX 097(544)8892 郵便振込 0154010112160  
(ホームページ) <http://aka-tombo.com/> <X> [aka-tombo@hotmail.co.jp](mailto:aka-tombo@hotmail.co.jp)

**大分県母親大会**  
-憲法をくらしにかさねて-

日時：7月1日(日)10時～  
会場：コンバル多目的ホール  
資料代：700円

記念講演  
「青い空は 青いままで  
子どもたちに伝えたい」  
-3.11を生きのびる-  
講師：小森 陽一さん  
(九条の会事務局長)  
主催：大分県母親大会実行委員会  
連絡先：TEL 097-568-8931



いつ完成するかわからない次期主力戦闘機FX35(米国製・一機89億円)も計上されるらしい。米国防総省は42機分で100億ドル(約8千億円)の収入を試算しているとか。単純計算でも倍増。4千億円以上が上乘せされ、私たちの税金が米国の軍事産業に流れていく。(れ)